

平成16年12月 検定試験

〔No.32〕 故障診断に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 水温センサシステムの点検において、水温センサのコネクタの両端子間の電圧が5 Vあれば、水温センサ及びエンジンECUは正常である。
- (2) O₂センサシステムの点検において、信号出力電圧が約1 V一定の場合は、吸気系のエア漏れ等空燃比が薄くなる要因がないかを点検する。
- (3) ダイアグノーシス・コードの検出に点火確認信号を用いている点火システムの点検において、点火系すべての気筒のダイアグノーシス・コードが同時に出力する場合は、点火確認信号の不具合が考えられる。
- (4) 外部診断器を使用しての吸気温センサシステムの点検において、ECUデータ値が約140℃と表示される場合に、吸気温センサのコネクタを外した場合の表示が約140℃のまま変化しないときは、吸気温センサ以外で断線していることが考えられる。